

2025 年度 授業コード：52001000

授業科目	心理学（2 年制コース）					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	水貝 洵子、杉本 有紗										
授業概要	心理学は、人間の心や行動を科学的に研究する学問である。本講義では、心理学の諸概念について解説するとともに、参加型・体験型の個人ワークやグループワークを積極的に行い、心理学についての体験的な理解を目指す。										
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク ディスカッション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 心理学の基本的な知識を理解し、説明することができる。 2. 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。										
理想的レベル	標準的レベルに加え、心理学の基本的な知識を理解し、現実場面での様々な問題を考えるときに応用することができる。 また、心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			0								
小テスト			0								
レポート			100%				小レポート、最終レポート				
発表（口頭、プレゼンテーション）			0								
レポート外の提出物			0								
その他			0								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH10401J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
講義内容の復習										4	
授業計画											
第 1 回	テーマ：オリエンテーション（担当：杉本有紗） 授業の進め方について説明する。また、心理学とは何かについて概説する。										
第 2 回	テーマ：感覚（担当：杉本有紗） 感覚の働き、性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。										
第 3 回	テーマ：知覚（担当：杉本有紗） 注意の働き、知覚の働きについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。										
第 4 回	テーマ：記憶（担当：杉本有紗） 記憶の過程、感覚記憶、短期記憶、長期記憶について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。										

第 5 回	<p>テーマ：学習（担当：杉本有紗）</p> <p>新しい行動を身につけて環境に適応するための「学習」について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 6 回	<p>テーマ：動機づけ（担当：杉本有紗）</p> <p>生理的動機づけ、社会的動機づけについて解説する。（担当：杉本有紗）</p>
第 7 回	<p>テーマ：情動（担当：杉本有紗）</p> <p>情動について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 8 回	<p>テーマ：ストレスとストレスコーピング（担当：杉本有紗）</p> <p>ストレス、ストレスコーピングについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 9 回	<p>テーマ：対人認知（担当：水貝洵子）</p> <p>対人認知の過程について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 10 回	<p>テーマ：社会的態度（担当：水貝洵子）</p> <p>態度形成、態度変容について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 11 回	<p>テーマ：対人コミュニケーション1（担当：水貝洵子）</p> <p>コミュニケーション過程や言語コミュニケーションの性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 12 回	<p>テーマ：対人コミュニケーション2（担当：水貝洵子）</p> <p>非言語コミュニケーションの種類や性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 13 回	<p>テーマ：自己認知（担当：水貝洵子）</p> <p>自己開示や自己理解の過程などについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 14 回	<p>テーマ：集団と個人（担当：水貝洵子）</p> <p>集団による個人への影響、個人による集団への影響について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。</p>
第 15 回	<p>テーマ：まとめ（担当：水貝洵子）</p> <p>これまでの授業を振り返る。</p>
テキスト	指定しない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>『エッセンシャル心理学』長谷川千洋編 ナカニシヤ出版</p> <p>『はじめて出会う 心理学』長谷川寿一、東條正城、大島尚、丹野義彦、廣中直行著 有斐閣</p> <p>『図説 社会心理学入門』齊藤勇編著 誠信書房</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。もしくは、適宜レポートの質問内容を授業内で取り上げて回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結び付けてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。